

ウオダス 漁海況速報 No.1481

発行日 平成 18 年 5 月 1 日 <http://www.applenet.jp/aosui/>
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778
 住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384-37

5月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

○イカナゴの稚仔分布密度は前年よりも多い。

(青鵬丸によるイカナゴ稚仔分布調査結果)

鰺ヶ沢 (4月26~30日)

ヤリイカ	底建網	1隻	2kg
(35 kg)	底曳網	3隻	33kg
サクラマス	定置網	5隻	253kg
タイ	一本釣	1隻	6kg
マサバ	底建網	1隻	0.2kg
(3 kg)	底曳網	2隻	3kg
アブラツノザメ	底曳網	2隻	13kg

小泊 (4月26~30日)

ヤリイカ	定置網	25隻	215kg
(1,276kg)	棒受網	28隻	1,061kg
ウスメバル	一本釣	28隻	756kg
タイ	刺網	1隻	92kg
(102 kg)	一本釣	1隻	10kg

三厩 (4月26~30日)

ヤリイカ	定置網	120隻	612kg
アブラツノザメ	延縄	2隻	119kg

平館 (4月26~30日)

サクラマス	90kg
ヤリイカ	定置網 34隻
	512kg

佐井 (4月16~30日)
(取りまとめ中)

大戸瀬 (4月26~30日)

ヤリイカ	定置網	12隻	8kg
(66 kg)	底建網	39隻	59kg
タイ	定置網	2隻	8kg
(9 kg)	底建網	4隻	1kg
サクラマス	定置網	29隻	192kg
(229 kg)	底建網	9隻	37kg
ブリ	定置網	1隻	2kg
マダラ	定置網	1隻	4kg
(18 kg)	底建網	2隻	13kg
サバ	定置網	3隻	3kg
(4 kg)	底建網	2隻	1kg

下前 (4月11~15日)

ヤリイカ	定置網	31隻	765kg
(9,716kg)	棒受網	100隻	8,950kg
ウスメバル	一本釣	4隻	116kg

(4月16~20日)

ヤリイカ	定置網	13隻	282kg
(5,392kg)	棒受網	58隻	5,110kg
ウスメバル	一本釣	2隻	10kg

(4月21~25日)

ヤリイカ	定置網	8隻	734kg
(2,919kg)	棒受網	25隻	2,185kg
ウスメバル	一本釣	3隻	80kg

(4月26~30日)

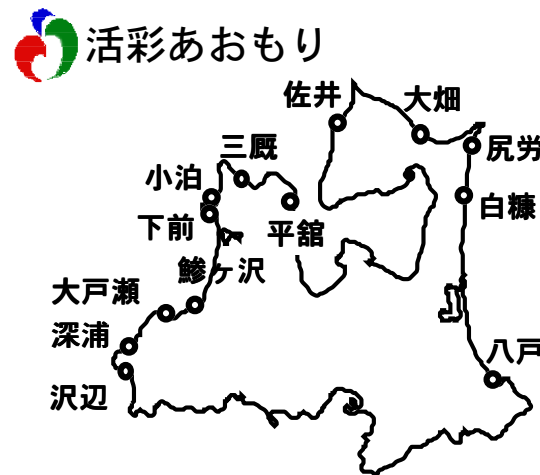
ヤリイカ	定置網	4隻	54kg
(894 kg)	棒受網	23隻	839kg

大畑 (4月26~30日)

ヤリイカ	定置網	12隻	1,098kg
(1,118kg)	底建網	9隻	20kg
サクラマス	定置網	12隻	581kg
(583 kg)	刺網	1隻	1kg
ウスメバル	底建網	7隻	2kg
(18 kg)	刺網	1隻	5kg
	籠	1隻	10kg
アブラツノザメ	定置網	1隻	6kg
(474 kg)	延縄	2隻	468kg
タイ	定置網	4隻	2kg
(3 kg)	底建網	2隻	0.3kg
マダラ	定置網	2隻	22kg
(46 kg)	底建網	4隻	24kg
サバ	定置網	1隻	70kg

深浦 (4月26~30日)

ヤリイカ	底建網	5隻	36kg
(141 kg)	底曳網	6隻	105kg
サクラマス	定置網	4隻	131kg
ハタハタ	底曳網	3隻	336kg



尻労 (4月16~30日)
(取りまとめ中)

白糠 (4月11~30日)
(取りまとめ中)

八戸 (4月26~30日)

サケ他	定置網	4隻	3,558kg
-----	-----	----	---------

主要魚種の動き

○ヤリイカ (全漁法・4月26~30日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(8月~)	昨年同期比
小泊	1,276kg	74%	58,260kg	386%
下前	894kg	17%	78,331kg	309%
鰺ヶ沢	35kg	885%	159,531kg	59%
大戸瀬	66kg	28%	298,337kg	108%
深浦	141kg	30%	39,247kg	219%
沢辺	114kg	69%	10,707kg	147%
(陸奥湾)				
平館	512kg	158%	25,533kg	61%
(津軽海峡)				
三厩	612kg	58%	19,634kg	57%
大畑	1,118kg	130%	18,513kg	52%

●平成18年度第1回 日本海スルメイカ長期漁況予報

独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所は4月28日、関係機関の情報をとりまとめ、下記のような予報を発表しました。

○今後の漁況見通し(2006年5月~7月)

- 対象魚種：スルメイカ
- 対象海域：日本海
- 対象漁業：主にいか釣り漁業
- 対象魚群：主に秋季発生系群
- (1) 来遊量：昨年および近年平均より少ない。
- (2) 漁期・漁場：山形県~青森県は昨年を上回るが、新潟県以西では昨年を下回る。
- (3) 魚体の大きさ：昨年より大きく、近年平均並み。

※詳しくは <http://www.jfa.maff.go.jp/>、
<http://abchan.job.affrc.go.jp/> および
<http://www.jsnf.affrc.go.jp> に掲載されます。

沿岸各地の水温

日本海 9 ~ 10 °C台
陸奥湾 6 ~ 8 °C台

(4月26日~30日)

津軽海峡 8 ~ 9 °C台
太平洋 7 ~ 8 °C台

今回はすべての地域で前回よりも昇温し、平均前回差は+0.8度でした。

昨年と比べると日本海側で+0.5度、津軽海峡で-1.3度、陸奥湾で-1.3度、太平洋側で-1.2度となっています。平均昨年差は-1.0度です。

平年と比べると太平洋側で平年並み、陸奥湾ではなはだ低めの他はやや低めで、平均平年差は-1.2度でした。

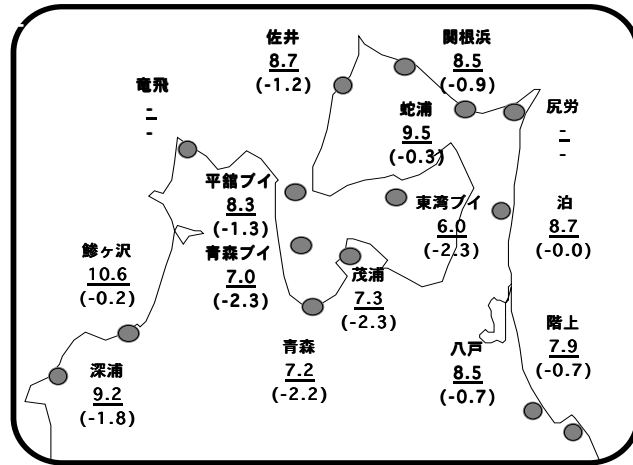


図 定地水温 (4月26~30日) 平均值 (平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	9.2	-1.8	+1.0	+0.6
鰺ヶ沢	10.6	-0.2	+0.0	+1.1
竜飛	-	-	-	-
佐井	8.7	-1.2	-1.5	+0.5
青森	7.2	-2.2	-1.3	+0.9
蛇浦	9.5	-0.3	-1.2	+1.1
関根浜	8.5	-0.9	-1.2	+0.5
尻屋崎	-	-	-	-
泊	8.7	-0.0	-0.4	+0.7
八戸	8.5	-0.7	-1.9	+0.3
階上	7.9	-0.7	-1.3	+0.5
茂浦	7.3	-2.3	-1.8	+1.3
平館	8.3	-1.3	-1.2	+2.1
青森	7.0	-2.3	-0.9	+0.9
東湾	6.0	-2.3	-1.4	+0.5
平均	8.2	-1.2	-1.0	+0.8

太平洋の海況 (4月27~30日)

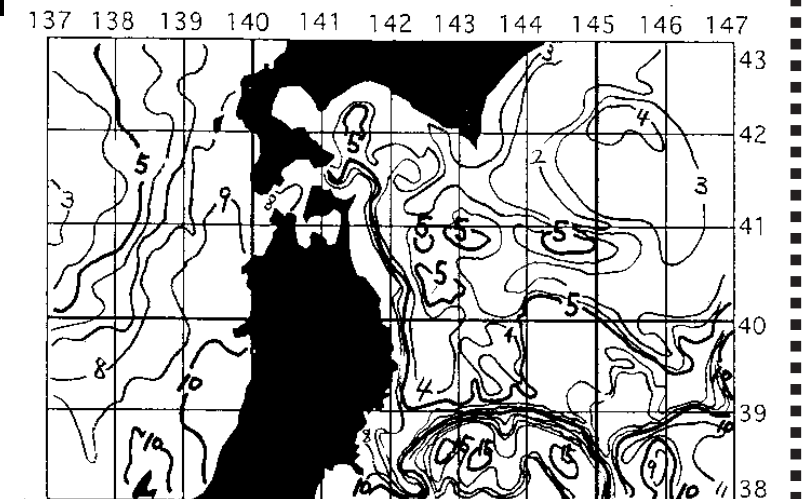
概況；沿岸水温は7°C台

- 太平洋沿岸域の表面水温 7°C台で、前回並みかわずかに高くなっています。昨年同期と比べると1~2度低い水温となっています。
- 津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 5°C等温線で見ると東経141度50分付近までで、張り出しは前回より強くなっています。
- 親潮系冷水の南下 4°C等温線で見ると北緯39度20分付近までで、張り出しは前回より弱くなっています。

日本海の海況 (4月27~30日)

概況；沿岸水温は8~9°C台。

- 日本海沿岸域の表面水温 8~9°C台で、前回より昇温しています。昨年同期と比べると1~2度低い水温です。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第9号5月1日

●イカナゴ稚仔分布調査結果

試験船青鵬丸は2006年4月11~12日にボンゴネット往復傾斜曳(水深0~50m)を行いました(図1)。今年の稚仔分布密度は前年よりも

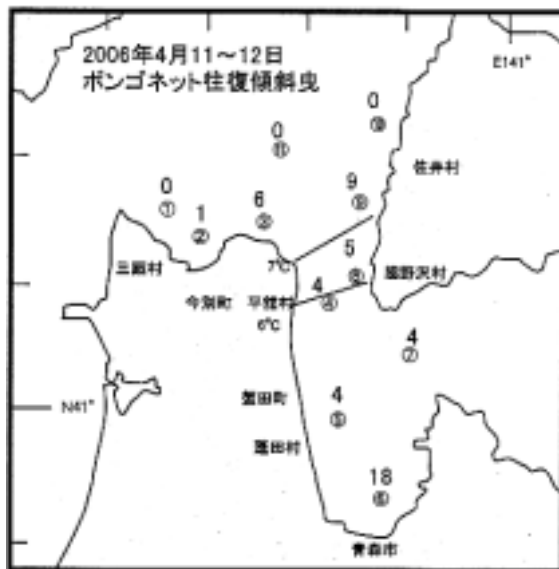


図1 ボンゴネット水深0~50m往復傾斜曳によるイカナゴ稚仔採集個体数 (①~⑪: St.No., 数字: 採集個体数) (水温は水深20m層)

多く、2003年と同程度となっています(図2)。稚仔の体長は4~7mmが多く、漁獲対象(25mm以上)になるまでにはおよそ1ヶ月半ほどかかります。水温は例年よりも1°C低めとなっています。

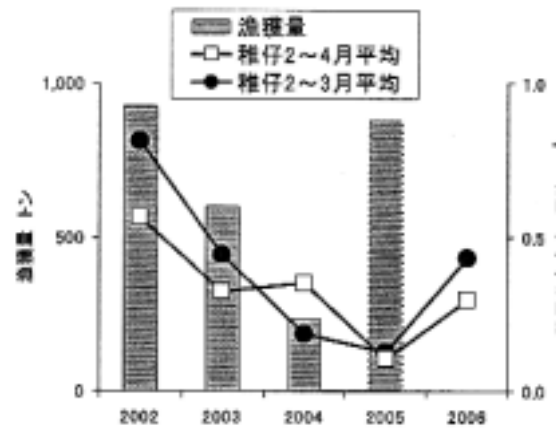


図2 イカナゴ稚仔分布密度の経年変化

◎試験船情報

- 試験船開運丸は太平洋のあかいか未利用資源調査を終了しています。4月26日の調査結果は下の図のとおりです。いわき沖の東経144.6度では比較的多いあかいかの分布がみられました。
- 試験船東奥丸は先週、日本海の定線観測を終了しています。

開運丸あかいか未利用資源調査(太平洋)(アカイカ)

操業月日	操業位置	漁獲尾数(*)	魚体(cm)**	表面水温(°C)
4月26日	37-00、144-37(いわき沖)	285(2.0)	31~41(36)	11.9

* 釣糸1本1時間あたりの漁獲尾数 **主となる大きさ

◎トピックス

4月8日に、大間沖でホタルイカモドキ1尾が採集されました。外套長が2.8cm、全長が約8cmです。

